

理学療法科学域 修士論文書式

1. 原稿の分量および形式は、下記のとおりとする。

- (1) 和文原稿はパソコンまたはワープロを用いて清書する。A4 版横書き縦 40 行・横 40 字の 1,600 字分を 1 ページとし、引用文献、図表、写真を含み、本文の合計が 12 ページ(20,000 字相当) 以内とする。
- (2) 英文原稿の場合は、ダブルスペースでパソコン又はワープロを用いて、引用文献、図表、写真を含み A4 版横書き 15 ページ以内とする。
- (3) 図表 (パソコンまたはワープロを用いて清書) および写真は、それぞれ本文中に挿入する。

2. 原稿の構成

- (1) 原稿本文には、和文の要旨(400 字以内)とキーワード(5 語以内)、本文、引用文献、英語要旨(300 語以内の Abstract)と Key Words(5 語以内)の順に記載する。
- (2) 年号は原則として西暦を使用し、外国語・外国人名・地名は、原語もしくはカタカナ(最初は原綴りを併記)で書く。略語は本文中の最初に出たところでフルネームを入れる。
- (3) 引用文献の記載方法

(a) 本文中の該当箇所の右肩に、順に 1), 2) の通し番号を付し、文末に番号順に揚げる。

(b) 雑誌の場合

著者名：題名、雑誌名、巻(号)：引用ページ、発行年. の順に記載する。

[例]

井村恒郎：知覚抗争の現象について. 神経誌, 60 :1239-1247, 1958.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression. Arch Gen Psychiatry 46: 3-250, 1989.

(c) 単行本の場合

著者名：題名. 監修ないし編集者, 書名, 版数：引用ページ, 発行社名, 発行地名, 西暦発行日の順に記載する。

[例]

八木剛平, 伊藤斉：躁鬱病. 保崎秀夫編著, 新精神医学：282-306, 文光堂, 東京, 1990.

Gardnar MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemias: 327-359, Mercel Dekker, NewYork, 1987.

(d) 著者名が 4 名以上の場合、3 名連記の上、○○○, 他、あるいは○○○, et al. とする。